



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ



2017-2018 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリー：変化をもたらす」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「クラブの原点と将来を考え、寛容で傍観者のいないワクワクするクラブにしよう」

創立/平成3年3月13日(1991年)

事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会: 毎週水曜日12時30分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8

会長: 松下和正 副会長: 米倉伸三 会長エレクト: 山路敏之 幹事: 熊井 寛 会報委員長: 栗原浩之

3月14日 第1266回例会

2018年3月14日発行 (No. 1215)

本日の卓話

「子供に囲碁を」

いずみ囲碁ジャパン(有)

社長 内久根 孝一 様

紹介者 小林佳俊会員

次回の例会 (3月28日)

ビュッフェ例会 and ショートスピーチ

3月7日 第1265回例会報告

卓話

「オリンピックとアマチュア野球」

一般財団法人 全日本野球協会 (BFJ)

副会長 山中 正竹 様

紹介者 原田睦巳会員

「内容を録音したデータが事務局にあります」



卓話をされる山中正竹様

2. 内規について
規定検討委員会の井田委員から内規改定について説明があった。訂正要望があり、一部訂正することに決定した。
3. 東京上野 RC との合同例会について (4月18日)
渡辺 SAA から式次第について説明があった。両クラブの情報提供は懇親会でなく例会内で行う。席については今後検討する。
4. 文京あじさいまつりについて
参加することが承認された。協賛については今後検討する。
5. その他
 - a 長期例会欠席者については、紹介者から現状を聞き、出席を促す。
 - b 次回開催日時 2018年4月4日 11:30 ~

会長報告

1. 青少年交換派遣学生の募集が4月1日より始まります。
留学期間は2019年7月からおよそ1年間です。募集要項は地区のホームページ、在学中の学校より入手できます。
ぜひ、ご周知のほど、お願いいたします。

幹事報告

1. 「コーディネーターニュース」3月号 並びにバギオ便り3月号をテーブルに配布いたしました。
2. 3月5日(月)2018-2019年度 地区チーム研修セミナーがあり、松岡会員、飯塚会員出席されました。

理事会報告

1. 青少年交換留学生費について
現在の口座残高、用途について説明。会員から5000円徴収することが承認された。

8日(木)は地区青少年奉仕委員会が開催され、松岡会員、松下会員が出席されます。

3. 東京御苑ロータリークラブより、明日の例会を休会とします、と連絡がありました。
メイクアップの際はご注意ください。
4. 東京池袋ロータリークラブより、第4回ワインの会のご案内をいただきました。
詳細は、昨日メール配信済みです。参加の方は、クラブ事務局又は、東京池袋RCへご回答下さい。

出席

会員数：48名 欠席出席免除者：2名 出席数：37名
欠席数：9名 出席率：80.43%
2月14日修正後出席率：86.67%
クラブゲスト：山中正竹様(卓話講師)
野口善男様(原田会員ゲスト)
かぴー・アイダーさん(米山奨学生)

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

*小林佳俊会員

特別記念日のお祝いありがとうございます。

*伊藤 守会員

いつも通りに、正直に確定申告を済ませました。
森友問題で逃げまくっている、佐川国税庁長官!!
正直に申告して下さい。

*古関伸一会員

特別記念日のお祝いと2月の妻の誕生日祝い有難うございます。

ニコニコBOX	25,000円
累計	877,000円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ロータリー財団奨学生 清水さんからの3月動向報告書

留学期間も残すところあと2ヶ月余り。5月末の卒業を見据え、学生の間では就職活動が激しくなってきました。これまで私の個人的な体験が殆どでしたので、今回は客観的な情報も含めてお伝えします。ハーバード大学は13のスクール(日本の大学院レベルに相当)から構成されており、代表的なものとしてケネディー政治学院、ビジネススクール、ロースクールなどがあり、各スクールは独立採算制を採用しているので、キャンパス訪問すれば予算規模の違いが一目瞭然ですが、例えばメディカルスクールには、象牙の塔というよりは大理石の塔が聳え立っています。私の在籍する教育大学院は比較的質素なたたずまいです。

昨年の教育大学院のデータによりますと、在籍学生は博士課程が50名、修士課程が646名、4人に3人が女性、出身国48ヶ国(外国籍2割)、全米40州、3割が有色人種。平均年齢は博士課程が27.5歳、修士課程が27.9歳。GRE受験も必須ですが、TOEFLは104点を足切りとし、合格者平均は113点(120点満点)。卒業後の就職先ですが、高等教育機関(17%)、非営利団体(17%)、公立学校(16%)、チャータースクール(12%)、独立系スクール(11%)、メディア/IT系(10%)、コンサルティング(7%)、政府系(4%)となっ

ています。教育機関が殆どですが全員が教職ではなく、職務別にみると事務管理職(30%)、教員・人材育成(26%)、リサーチャー・アナリスト(16%)、起業家(8%)、IT技術者(6%)とあり、特徴的なのは起業家精神だと思います。日本の教育学大学院を卒業しましたが、過去も含めて起業した卒業生の話は聞いたことがありません。他のスクールや隣接するMITの起業率に比べると低いにせよ、「やってみなはれ」精神と全面的なサポート体制(奨学金及び専門家のサポートあり)が充実しており、アメリカにおける教育サービスの多様性及び参入のし易さもその背景にあるでしょう。日本も学ぶべき点があると思いますが、教育ベンチャーとの連携において、いくら斬新なアイデア・崇高な創業理念であっても、ずさんな管理でその場限りのプログラムで終われば子供にとってマイナスになるでしょう。現在履修中のクラスの課題図書の中で、3箇所も日本のカイゼン活動をいまだに高く評価する引用文がありました。

一方、先日ウォール・ストリート・ジャーナルの一面記事では、日本の大手企業の不祥事と米中両国との比較で低下する日本の生産性も取り上げられました。中国・インドの台頭はハーバードのキャンパスでも如実に現れており、アメリカは積極的に好機と捉え連携を強める中、日本は完全に置き去りになっている危機感を強く感じます。教育の刷新がなければ日本及び世界の繁栄はないと思います。ある文科省職員が本学を訪問しお話をする機会がありました。印象的だったのは、日本のバブル期にはアメリカを始めとする世界の有名企業を買収しようとしたが、今の中国は経済連携強化に止まらず、教育連携、特に米国優良大学との連携への多額の投資を惜しんでいない点で日本よりも先見性を有している。実際、ハーバード大学に公衆衛生大学院があるのですが、このスクールは香港の不動産開発会社ハンブルグループが370億円を寄付して建設されました。バブルの再来に夢を見るのか、それとも数十年後の未来を見据えて人材育成に投資するのか、景気が回復している時だからこそ重要な決断が迫られていると感じます。

健康状態は良好です。Cambridge RCのカウンセラー、Robert Mansfieldさんに昨年2度お会いしましたが、ご多忙のようで再会できる日程を調整している状況です。

澤部利藏会員の会社名が変更になりましたので、
会員名簿の訂正をお願いいたします。

旧：有限会社エス・ケイ・シー
新：株式会社竹馬合同コンサルティング
※役職・住所の変更はありません。

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付	1名	10,000円
米山特別寄付	2名	40,000円

のご寄付をいただきました。
ありがとうございました。